

1. 地域共創研究クラスターの取り組み 《奈良工業高等専門学校》

① 福祉ロボットクラスター（事例紹介）

少子高齢化に伴う介護問題は奈良県でも喫緊のテーマとなっております。この課題に対応すべく本校では県内の介護施設（社会福祉法人天寿会）、企業（テクノス株式会社）と連携し、現在、福祉ロボットの実用化に向けた開発を進めております。



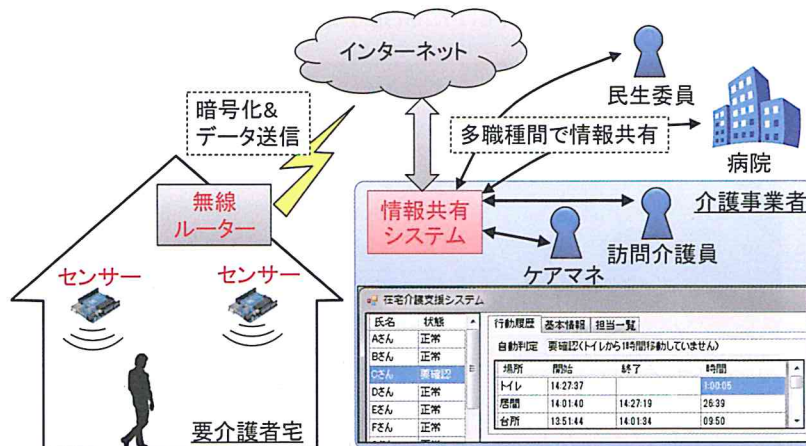
（平成27年11月に東京ビッグサイトで開催された「HOSPEX Japan2015」に研究成果を発表）

② 医工連携・地域包括ケアクラスター（事例紹介）

高齢化に伴う医療現場と患者の身体的・精神的負荷は増す一方で、10年後の高齢化率（65歳以上）が30%を超えると予測されている奈良県では、その負担軽減が課題となっております。本校では、死因の38%を占めるガン治療の身体的・精神的負荷軽減に向けて、県内の大学（奈良先端科学技術大学院大学、奈良県立大学）、奈良県産業振興総合センター、企業（ダイワ精密プレス株式会社）と連携し温熱療法（ハイパーサーミア）装置の開発に取

り組んでおります。

また、要介護者の増加に伴う介護現場の負担を軽減すべく、県内の病院（済生会奈良病院）、や複数の介護施設・訪問医と連携し、センサーとIoT技術を活用した遠隔見守りシステムの開発に取り組んでおります。

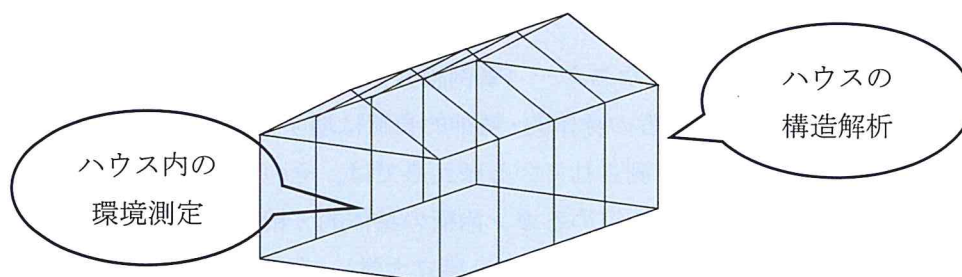


③ スマートシティクラスター（事例紹介）

山間部の多い奈良県では、分散型エネルギー社会への対応、情報通信網の充実、山間部での電力供給問題等が大きな課題となっております。本校では、燃料電池やリチウム電池などの新エネルギー材料の創出に向け連携可能な県内企業の探索や、「いつでも、どこでも、だれでも」移動等に関する情報入手を可能にする自立移動支援技術につき県内の交通会社と連携し取り組んでおります。また、山間部の電力確保に向けた小水力発電について山間部自治体等と連携し、工学的貢献の可能性を議論し始めております。

④ 農工連携クラスター（事例紹介）

奈良県は農業も盛んで、農作物の安定した供給確保が農業ビジネスの支えとなります。当クラスターでは、台風や大雪にも耐えうるビニールハウスの開発や、センサー技術を活用したビニールハウス内での環境管理など工学的側面から県内農業を支えていく技術開発に取り組んでいます。



2. 事業協働機関との対談 《奈良工業高等専門学校》

奈良工業高等専門学校では、本プロジェクトの事業協働機関の幹部の方々と本校校長との対談を順次実施し、地方創生事業の重要なパートナーである事業協働機関との連携強化を図っております。現在、下記9機関との対談を実施・予定しております。

- ・奈良中央信用金庫 様（平成28年2月実施）
- ・三晃精機株式会社 様（平成28年2月実施）
- ・テクノス株式会社 様（平成28年2月実施）
- ・社会福祉法人恩賜財団済生会奈良病院 様（平成28年3月実施）
- ・社会福祉法人天寿会 特別養護老人ホームひびきの郷 様（平成28年3月実施）
- ・河村繊維株式会社 様（平成28年3月実施）
- ・株式会社南都銀行 様（平成28年4月以降実施予定）
- ・奈良県農業協同組合 様（平成28年4月以降実施予定）
- ・奈良交通株式会社 様（平成28年4月以降実施予定）

3. 奈良経済同友会と奈良女子大学との交流・懇談会

奈良女子大学社会連携センターでは地元企業との結びつきを強固なものとするため、平成18年度から奈良経済同友会との交流・懇談会を開催してきました。平成27年度については、COC+採択、やまと共創郷育センター発足を機に「大学・高専・企業の地方創生の取組みについて」の題でやまと共創郷育センター長 藤原素子、奈良工業高等専門学校 COC+事業実施責任者 藤田直幸より COC+事業の取組み内容について説明を行いました。懇親会の場でも COC+事業に関する話題は尽きず、今後の連携に向けた好機となりました。

○奈良経済同友会と奈良女子大学との交流・懇談会

開催日時 平成27年1月18日（月） 15時から19時

於：奈良女子大学理学部 G棟 101 教室

参加者 92名



藤原やまと共創郷育センター長による説明の様様



藤田奈良工業高等専門学校 COC+事業実施責任者による説明の様様

4. 奈良女子大学第13回研究フォーラム

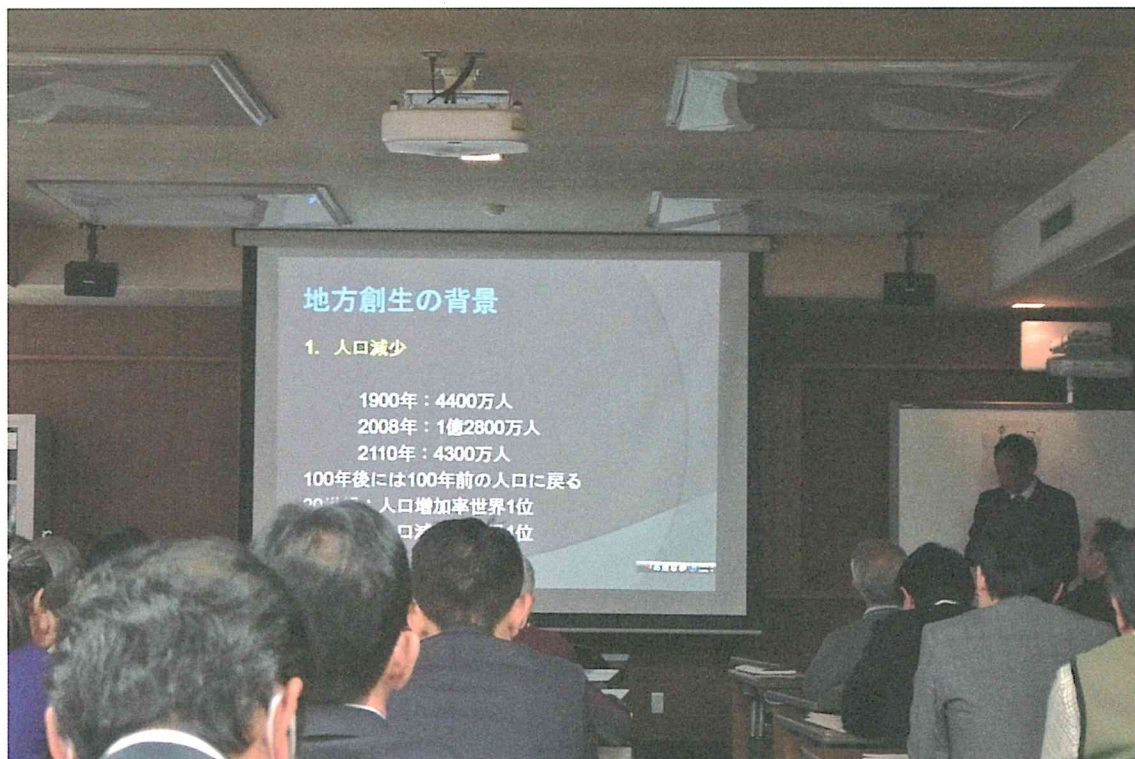
奈良女子大学社会連携センターでは学外ビジネスフェアへの出展の他、一般の方に奈良女子大学へお越しいただくことで大学の研究内容をより身近に感じていただく機会として「研究フォーラム」を開催してきました。平成27年度については、地域に関連する研究事例を中心に紹介し、奈良県を中心とした地方創生の現状と課題、災害を契機とした新たな村づくり等のテーマで講演を行いました。

○奈良女子大学第13回研究フォーラム

開催日時 平成27年1月28日(木) 13時から16時30分

於：奈良女子大学理学部会議室

参加者44名



中山 徹教授（生活環境学部住環境学科）による説明の様様



室崎 千重講師（生活環境学部住環境学科）による説明の様様

奈良女子大学第13回研究フォーラム

奈良女子大学社会連携センターでは学外ビジネスフェアへの出展の他、一般の方に奈良女子大学へお越しいただくことで大学の研究内容をより身近に感じていただく機会を毎年1回、開催しております。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が平成26年12月27日に閣議決定され、産学金官がそれぞれの強みを生かして連携する取組みが全国的に加速されています。本年度は、地域に関連する研究事例を外部講師の方を交えてご紹介いたします。多くの方々のご来場をお待ちいたします。

2016
1.28
Thu. 13:00-16:30

奈良女子大学
理学部会議室

定員70名 参加無料

ご挨拶 奈良女子大学学長 今岡春樹
奈良女子大学 社会連携センター長 内田忠賢

- 「地方創生の現状と課題、奈良県を中心に」
奈良女子大学 研究院生活環境科学系 教授 中山徹
- 「伝統的木造建築物の耐震性能評価と補強設計について」
奈良女子大学 研究院生活環境科学系 講師 瀧野敦夫
- 「薬業の先進地 奈良：享保期の和薬種国産化政策と森野薬園」
奈良県立大学・地域創造学部・教授 野高宏之氏
- 「南都銀行 公務・地域活力創造部の地方創生に対する取組みと
奈良県内の総合戦略について」
南都銀行 公務・地域活力創造部 澤村弘氏
- 「産業が育む生物多様性ー滋賀・奈良での事例ー」
奈良女子大学 研究院自然科学系 教授 遊佐陽一
- 「奈良県十津川村の災害を契機とした新たな村づくり」
奈良女子大学 研究院生活環境科学系 講師 室崎千重

主催：奈良女子大学 社会連携センター

資料準備の都合上、事前お申し込みにご協力ください。
奈良女子大学 社会連携センター
Tel 0742-20-3338(平日9:00-17:00)
E-mail kouza@jimu.nara-wu.ac.jp FAX 0742-20-3958

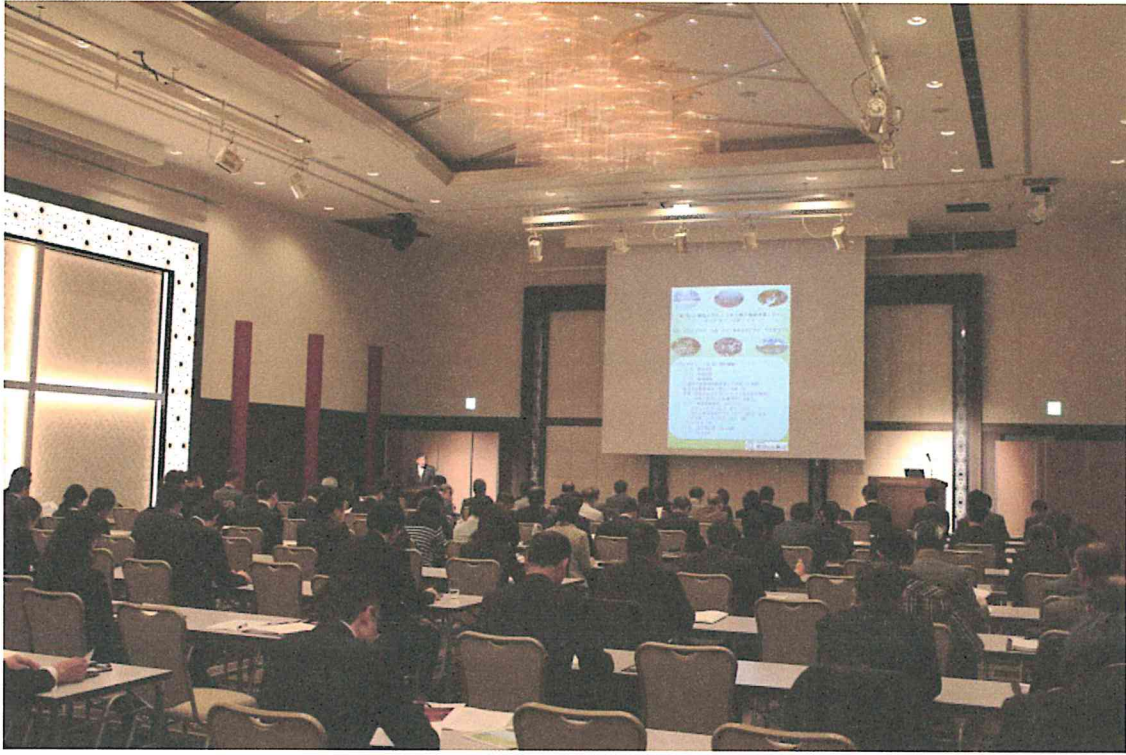
学内には十分な駐車スペースがございません。公共交通機関を利用してご来学ください。一近鉄奈良駅より北へ徒歩5分です。

第13回研究フォーラムチラシ

5. 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」キックオフシンポジウム

平成28年3月13日（日）橿原ロイヤルホテルにて「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」キックオフシンポジウムを開催しました。事業協働機関である奈良県、下市町、野迫川村、十津川村の関係者の他、奈良県内の企業関係者、大学関係者等多数の参加者がありました。今岡春樹奈良女子大学長による開会の挨拶に引き続き、来賓の松谷幸和奈良県副知事より挨拶がなされ、奈良県の地方創生総合戦略とも関連の深いCOC+事業に対する期待が表明されました。基調講演は文部科学省高等教育局国立大学法人支援課国立大学戦略室長 春山浩康氏が担当し、「地域社会の活性化における高等教育機関の役割と地域との協働関係の実質化」の演題でCOC+事業を含めた国立大学法人等を取り巻く状況について説明がなされました。引き続き、奈良女子大学・奈良工業高等専門学校・平成28年度よりCOC+事業に新規参画する奈良県立大学のCOC+事業担当者より次年度以降各校が実施を予定している事業について説明がなされました。各校による説明に対しては、参加者から積極的な質問・意見が投げかけられ、COC+事業に対する期待の高さを感じられました。意見交換の後、今後のCOC+事業に対する尽力の誓いとして協定書が披露されました。

- 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」キックオフシンポジウム
開催日時 平成28年3月13日（日） 13時から16時
於：橿原ロイヤルホテル「畝傍」
参加者 113名



盛況となった COC+キックオフシンポジウム会場



7 協働機関代表者による協定書披露式

6. やまと共創郷育センターホームページの開設 《奈良女子大学》

やまと共創郷育センターの組織・事業等を広く社会に公表するため、やまと共創郷育センターホームページを開設しました。(http://www.nara-wu.ac.jp/yamato/index.html)

平成27年度大学教育再生戦略推進費「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」

国立大学法人
奈良女子大学 **やまと共創郷育センター**
YAMATO Center for Regional Collaboration and Education, Nara Women's University

文部科学省 **地(知)の拠点**

トップページ センター長挨拶・スタッフ紹介 センター組織 地域志向科目 アクセス・お問合せ サイトマップ

文字の大きさ **大** 小

検索

関連リンク
 ・奈良女子大学
 ・奈良工業高等専門学校
 ・奈良県立大学
 ・奈良女子保健福祉大学
 ・奈良県
 ・下市町
 ・七津山村
 ・野田川町

奈良女子大学
 やまと共創郷育センター
 〒630-0506
 奈良市北山屋西町
 (奈良女子大学内)
 理学系 A棟1階
 TEL 0742-20-3000
 FAX 0742-20-3363
 coc@yamato@cc.nara-wu.ac.jp

※E-mailをお送りいただくときは、上記ホ
 ールのアドレス内の「*」を「@」に書き換えてく
 ださい。スパムメール対策ですので、お手
 紙をお届けしますがご協力のほどお願い
 いたします。

共に創り、郷を育む。
 とも つく ふるごと はぐく

共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト
「やまと」の未来を拓く

やまと共創郷育センターは、奈良女子大学が文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択されたことにより設立された組織で、大学と奈良県内の自治体、企業が連携して、地域を志向した教育並びに社会貢献を推進し、地域の活性化、地域が求める課題解決に資する人材の育成を推進することを目的としています。 [詳しく読む](#)

■ センターからのお知らせ

2016年2月12日	3月13日(日)橿原ロイヤルホテルにてキックオフシンポジウム開催します。
2016年2月12日	第1回やまと共創郷育センター-COC+事業協議会を開催しました。
2016年2月12日	センターのホームページを公開しました。

事業の進行に伴い、コンテンツを充実させていく予定です。シンポジウム等のイベント告知についてもホームページを通じて行います。